商店街マネージャーを採用し、活性化への取り組みを効果的に推進

能　都　町　商　工　会

機関名	能都町商工会			
所在地	石川県鳳至郡能都町宇出津ト44－４			
電話番号	０７６８－６２－０１８１			
地域概要	(1)管内人口	１万２千人	(2)管内商店街数	５商店街
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	５商店街	(2)会員数	124商店
	(3)空店舗率	７％	(4)大型店空き店舗数	－　店
商店街の類型	1.超広域型商店街　2.広域型商店街　3.地域型商店街　(4.近隣型商店街)			

【事業名と実施年度】

平成14年度　　マネジメント対策事業　　中心市街地に位置する５つの商店街が連携し、コミュニティビジネスの拠点整備・運営、来訪者との交流の拠点整備・運営、地域通貨の発行、各個店強化に向けた相談・アドバイスを行うため、商店街マネージャーを常駐させ、事業の効果的な実施

総事業費　　3,013千円

【事 業 実 施 内 容】

１．背景

能都町は、能登半島内浦の中央部に位置している。総面積の８割が丘陵起伏を成し、これらの山岳を水源とする河川が日本海に注いでいる。また、海岸線は屈曲に富み、沿岸・遠洋漁業の中心地として知られている。

当町の中心市街地には大橋組商店街、中町商店街、上町商店街、仙人町商店街、えびす商店会の５商店街があり、かつては物資の集散地、町の中心商業地として賑わっていた。

能登町の位置

しかしながら近年のモータリゼーションの進展、郊外型大型店の出店等により購買が町外へ流出し、商店数は平成３年から９年の間に41店（12.9%）も減少するなど、深刻な空洞化が進んでいる。

これに対し当町では平成12年に中心市街地活性化基本計画を策定し、下記のような基本方針のもと、活性化に向けた取り組みが進められている。本事業は中心市街地商店街を一つの商業集積

としてマネージメントすることを目的として、実施されたものである。

（1）「中心性」：日常的な賑わいの創出

日常的にいつも賑わいのある空間を創出するのが中心商店街であり、そのために魅力のある中心商店街につくりかえる。

（2）「継続性」：歴史の保全活用

中心市街地を独自性あるものとし、人が落ち着いて時を過ごせる空間を作り、市街地に残る歴史的街区については、その風情を残しながら住環境を整備する。

（3）「多様性」：文化や交流を楽しむ場の創出

多様な文化活動を展開できる空間、あるいは町民や来訪者などが気軽に交流できる空間を市街地の中に作り出す。

（4）「発信性」：町と街の情報に触れられる仕掛けの構築

町民に対してホットな話題を提供のほか、来訪者が町の情報を入手できるように、多面的な仕掛けとアクセスポイントを構築する。

能都町　中心商店街

2．事業概要

当町では中心市街地活性化基本計画に基づき、道路拡幅やモデル店舗の創出等の各種ハード、ソフト事業に取り組み、まちづくりを推進している。

これらの取り組みの一環として、中心市街地を１つの商業集積とみなし、近郊に進出したパワーセンター等との差別化を図るため、マネジメントを行う常駐の商店街マネージャーを平成14年９月より採用した。商店街マネージャーはまんなか市等のイベント、おかみさん会の活動、商店街活動全般に関わる指導を行ったほか、平成14年12月～平成15年２月に実験的に運用された、能都町地域通貨「キリコ」の運営支援等を行った。

地域通貨「キリコ」のチラシ

【効　　果】

商店街マネージャーは、商店街をまわり、問題点や改善のヒントをアドバイスして商店街活動への参加や企画への自主的な参加を促し、意欲ある活動へとつなげていった。

【課 題 ・ 反 省 点】

中心市街地の集客の向上を図るため、地域の商店街どうしの連携をさらに強め、拠点整備、運営など事業効率・効果の向上を図ることが必要である。

【関　連　U　R　L】

能都町商工会　　http://www.noto-net.jp/home.htm